

CELULAS



ピアザ
NPO法人 多言語広場セルラス

2017
Vol. 6

世界に通じる人材の育成をめざして

CONTENTS

P.2-5 特集『がんばれ、セルラス・ユース！』

P2 ~彼らの成長・多言語の視点から~

P3 ~彼らの成長・人間力の視点から~

P4 セルラス・ユースへエールを送ろう！

P5 留学生からのメッセージ

~ディアーナ・ミトロファノヴァ(リトアニア)~

P.6 韓国ホームステイ交流報告

P.7 メキシコホームステイ交流報告

P.8 スーパーピアザだより INFORMATION



特集 『自分で考え、 自分で見つけ、 自分から行動する姿勢』

これは、セルラスの青少年たちに
まず身につけてもらいたい姿勢です。
3年前から、セルラス・ジュニア
リーダー制度ができ、
彼らを中心に、
セルラスの青少年
たちは、お互いを
切磋琢磨する中で、
確実に成長を見せて
います。

がんばれ、
セルラスユース!

～彼らの成長・
多言語の視点から～

今年も3/29～31の2泊3日、
静岡でセルラスリーダーズ
トレーニングキャンプ(以下
リートレと略す)が開催されます。
冒頭のテーマに加え、今年が多言語に
焦点をあてた課題が、発表されました。
もちろんこの課題は、ピアザのみんなで
応援し、一緒に取り組んでいます。
リートレに向けて、ユース(中学生)の
力が炸裂する予感を見せています!

【子供のときペルシャ語を 話していた私】

東高円寺ピアザ 塩川萌子(高1)

理事長の話聞いて、まず自分は何で日本語が
しゃべれるようになったのか、今さらながらすごく
不思議に思いました。

私は小1の時お父さんの国イランに少しだけいた
けど、その時ペルシャ語がすごく話せました。
一日中近所の友達としゃべっていました。習って
ないのに、それも不思議だと思いました。小さい頃は
恥ずかしがらず、友達と遊びたいから何が何でも
話さなきゃと強く思ったからでしょうか。多分みんな
が言ってるように伝えたいって気持ちと聞きたいって
気持ちが強くあって、そこにことばが飛び交って
いけば、多言語も普通にそうやって話せるようになる
かもって、すんととはまったような気がしました。

ことばって面白い!
英語も学校のように勉強
してしゃべれるようになる
のではなく、日本語みたいに
自然に話せるように
なりたいと思います。



【スペイン語と英語の生活で 全く困らなかった】

渋谷ピアザ 福岡太一良(中1)

今回メキシコのホームステイに行く
と決めたとき、ことばについて不安はあり
ませんでした。でもそれは、多言語が
話せるからではなく、僕が人と向き合う
ことができるようになっていたからかな
と思えました。



セルラスに入会してからの3年間、ピアザやキャンプで
様々な年代の人や国の人と接するうちに、聞く力がつきました。

5年生の韓国交流準備会からは、仲間達と話したりディス
カッションしたりする中で、少しずつ話す力がつきました。
それにことばだけじゃなくて、ジェスチャーや表情、全身を
使って伝えようとすれば必ず相手に伝わる、相手の言いたい
こともわかる。それが人と向き合う力で、僕はそれを持って
いるとわかっていたからです。

僕は「相手の目を見て、しっかりと声を出して、自分の意志
を伝える」という目標を立てて行きました。僕がそれをする
と、相手も一生懸命に僕の話聞いてくれました。

10日間スペイン語と英語だけの世界で過ごして、多言語を
聴く力もついていると気づきました。次の夏、
ホストのエルネストが来るまでに、今度は話す力もつけたい
と思っています。

【ワンマンロールプレイ(※注1)の課題 全てクリアを目指す!】

梅丘ピアザ 和田たま子(中2)

最初リートレの課題を聞いたとき、まず、
「やった!」と思いました。そしてワンマンロール
プレイの課題は2場面だけだけど、全部できるよう
になって、ピアザなどでやるときは一番に手を挙げて
やるようにしよう!ということを目指しました。
今も頑張っている最中です。でも、全然苦じゃありません。
だって、好きなものだからです。もっと頑張ろうという
気持ちがどんどん膨らんでいきます。

でも最初から好きだったわけではありません。
何年前のリーダーズトレーニングキャンプで、
ワンマンロールプレイとプレゼンの選択があった時、
自分は多言語を全然覚えていないからできないと思って
プレゼンを選択しました。

しかし、実際にワンマンロールプレイをやった
人を見てとても驚き、なぜ自分はこれをやらなかったん
だろうと、ものすごく後悔しました。なぜなら、ちゃんと
その場面の風景とそこにいる人たちが見えたからです。
見えたのは1人じゃありません。出てくる人全員がそこに
ちゃんとして、会話をしているように見えたのです。

それを見て私は、ワンマンロールプレイは多言語を
どれだけ覚えていて言えるかということよりも、
自分の中で風景をイメージすることが大事なんだと
感じました。私はやりもせずつけないと決めつけて、
チャンスをつかみそこねていました。それからは
「絶対ワンマンロールプレイをやる!」
と決めてピアザに行きました。

そんなふうに気持ちが決まると、CDを
聞くのも前よりも全然楽になりました。
みんなの前でやるのにも、全く抵抗が
なくなりました。今回のリートレ、
今までの中で一番ワクワクしています。



特集 『がんばれ、セルラスユース！』

～彼らの成長・人間力の視点から～

セルラスの環境－ピアザ活動を中心に様々な活動を通して、ことばと共に育つもの、それは人間力。セルラス・ユースたちが実感している成長の声を聞いてください。



小6でアメリカに行ったのもセルラスに入っていたから。ホームシックになったけど、帰って報告があるからがんばれた。個人的に行っていたら泣いたままで終わったと思う。私の学校では英語がネイティブの人がおおく、英語の会話も多いですが、英語が上手に話せないことが嫌だとは思っていません。間違えも気にせず話せます。それもアメリカの経験のおかげだと思います。

山田雪菜(中1)

つい先日の高校入試の面接で、面接官との会話を楽しんでいる自分いた。相手が自分の話を聞いてくれるのが嬉しくて、伝えられることが楽しくて、その時、あ、なんかセルラスでいつもやっている事だ!と思った。セルラスでプレゼンや体験談を話したり、色々な人と会話する経験が確実に自分の力になっていくと改めて感じた瞬間だった。

中西七海(中3)

セルラスを通して学校では出会えない、素晴らしい留学生達と出会い、刺激を受け、彼らの世界を知りたいと思いました。中学、高校生の時から夢がどんどん広がりました。留学という一つの夢を叶え、そして大学では日本と世界の国際関係を学びたいと思う気持ちが強くなり、それが受験勉強を頑張る支えにもなりました。

鈴木嘉恵(高3)

昔はどつても恥ずかしがり屋で意見が言えなかった。やるしかでもピアザでは最年長で、特にキャンプセルラスをやり続けることで、特になんか状況という環境があつたし、セルラスをいろいろな国の留学生とことばを話すのがとても楽しいと思えるようになった。

河野麻奈帆(高1)

思考力

表現力

判断力

コミュニケーション力

人の目を見て話すことができずに苦しんだ小学校低学年時代だったが、セルラスの仲間と協力してもらい、この壁を乗り越えてきた。中学に入ってからサッカー部のキャプテンとしても頑張ることが出来た。活動を通して理解してきた「違いは宝物」を胸に、これから周りに影響を与えられるような存在になりたい。

吉田屋 岳(中3)

通学するときなど、よく外国人に道を聞かれる。たぶん目があったら外国人を見てセルラスに入っていなかったら韓国語でびくびくしていたと思う。いま第二外国語が韓国語でセルラスでも韓国語やっているので、楽しく授業にあげて、持っている音を使って、楽しく授業に参加できています。今は何をしたら役につくか考えて行動できる。

山川夏海(中2)

セルラスでプレゼンテーションをしたときに、どうしたら自分の考えが伝わるかなど、考える機会がたくさんあった。今、学校でもアルバイト先でもセルラスをやっていることが色々生きてくると実感している。マニュアルがあることばに頼るだけではなく、自分はマニュアルに頼るだけではなく、ちゃんと自分のことばにして、やれていると思う。

東 幹人(高2)

9歳でセルラスを始め、今大学でバイオメディカルの研究をしています。大学では、英語でレポートを書き、論文紹介をしたり、プレゼンもします。先日韓国医大生との交流会でのこと、研究分野のことは英語で、韓国に行ったことや韓流スターの話は韓国語で話していました。流れて英語でも韓国語でも多言語っていいなと思いました。

東 真穂(大3)

小3で行ったキャンプではホームシックになったけど、仲間のおかげで人見知りが減り、今は色んな年代の人と話すのが大好きになった。みんなに「変わったね!」と言われることがすごく嬉しい。相手の気持ちを考えることが、また自分の気持ちも素直に伝えられるようになった。伝えたい気持ちが強くなったからかも。

戸塚萌絵(中1)

自分のことにしか興味がなかった私が、他人に興味を持つようになりました。Jr.リーダーが小さな年代の子に対してまっすぐな気持ちで向きあう姿に感動し、リートレでは自分の話を真剣に受け止めてくれる仲間がいて(学校とは違う)私も相手に真剣に向き合えるようになりました。

手塚ひなの(中2)

青少年育成
活動

多言語習得
活動

多文化共生
活動



リートレに行って良かったこと、
伝えたいこと。

横浜土曜ピアザ 樋田奨平(高2)
アメリカ テキサス州 留学中

自分はセルラスのリートレに過去5回参加しました。初めて参加したのは5年前の新中1の時です。

その時の参加者は年上の人たちばかりで、電車の中でもキャンプ中も、自分のことをみんな弟のように優しく接してくれて、そんな先輩たちに強いあこがれを抱いたのを今でも覚えています。

みんなの意見は、自分では考えつかないようなことばかりなので、自分の考えの幅を大きく広げてくれ、良い刺激にもなりました。

“リーダーの形は一つではない”という大切なことも実感し、そして学びました。前で大きな声を出して指示を出すだけがリーダーではありません。“後ろからみんなの様子を見て声をかけ励ます”これも立派なリーダーです。

リートレではみんながリーダーです。意見を言わないで自分を出さないと、自分が楽しめません。周りがやってくれるのを待つのではなく、**自分で**仲間と協力してキャンプを面白くすればいいと思います。

今回参加できないのがすごく悔しいですが、この2泊3日に沢山の仲間・留学生との出会い、成長、感動が詰まっています。ほくの方まで楽しんできて下さい！



目標が毎年レベルアップ！

梅田ピアザ 三宅咲良(高2)
アメリカ ユタ州 留学中

初めてリートレに参加した新中2の時、直前まで不安で、行きたくないと言っていました。その時の目標はただ「参加すること」。

自己紹介に超緊張、ディスカッションでも何も発言できない。このままじゃだめだ！と思い、ついに、「私は～と思う」と言ってみたら、「なるほどー！」と聞いてくれて、ホワイトボードに私の意見が書かれました。

すごく嬉しくて、ディスカッションが楽しい！と初めて思いました。帰りは行ってよかったなと心から思い、ピアザの人にも「変わったね！」と言われたり。その時のリートレで初めてセルラスの意義が分かり、セルラスの活動全てに積極的に参加するようにしました。

次の年は「意見を言う」と目標を立て、次はまた違う目標を。目標がレベルアップしていくのは、達成できた自分がいるからです！私は皆さんに、とにかくなんでも挑戦してみてください。「意見を言うだけでなく、人の話を目を見て聴く」「勇気を出してワンマンロールプレイをする」「たくさんの人と話す」「グループを盛り上げまとめる」など。一人一人得意な事も苦手な事も違います。だからお互い影響され成長するんだと思うのです。

Don't be afraid. Don't be shy, you will be the blithest! We are pursuing a bright future today, too.

リートレ生たちといっしょに、私たち家族も大進化中！

渋谷ピアザ 新井和奈 <家族：夫 長女(小1) 長男(5才) 次女(1才)>



7才、5才、1才の子供たちを連れて、週2回ピアザに通っています。セルラスの活動を始めて3カ月になりました。今、リートレの課題に取り組む中高生に、とても刺激をもらっています。

課題の出た直後のピアザでは、さすがに私は、その場面をワンマンロールプレイできなかったけれど、中2の女の子が、ハイッと手を挙げて見事な英語のメロディでやりきった姿を見て、「来週は絶対私もやりたい！」って思いました。

ワンマンロールプレイの楽しさは、やり切ったあとに、皆がほめてくれることです。これが実はとても嬉しくて励みになります。これは子供が言葉ができるようになる過程と全く一緒な気がしていてセルラスってすごい！と思います。でもやっぱり、他のメンバーと一緒にするロールプレイがもっと楽しいです。相手がいるとお話のイメージがすごく頭に入ってくるし、人とつながりが出来て、自分の世界が広がる感じがしています。

恥ずかしがり屋だった子供たちもすごく変わり、人前で話す事が苦手じゃなくなってきました。5才の長男が Jr.リーダーになりたい！と言ったり、7才の長女がピアザの司会にチャレンジし、当日に向けて目標を5つも立てていました。ホームステイ報告をしていた子供たちの発表を聞いて、自然に学んだようです。

以前の私は、外国語や外国人に対して、本当に心を閉じていたんだなあと思います。心を開けば、そして、自分が伝えたい、コミュニケーションをとりたいという気持ちがあれば、思いは伝わる！だから大丈夫！！チャレンジしてみよう！と今は考えています。1才も含めた3人の子供たちの子育てと仕事で、毎日時間との闘いですが、子供たちとストーリーの場面について話したり、内容についてクイズを出し合ったり、シャドウイングを動きながら楽しんだり、セルラスに入ってから、それまで以上に前向きになれています♪

家族でホームステイにも行きたいし、いずれは住んでいる地域でコーディネーターになりたいとも思っていて、家族も応援してくれています。

すごく良い活動なので、もっとたくさんの人に知ってもらいたいです～！

留学生からのメッセージ

ディアーナ・ミトロファノヴァ @リトアニア



○自己紹介

20歳から、スペインに留学するまで、リトアニア代表の女子サッカーチームに所属していました。

22歳で友達の勧めでスペインに1年間留学。

その後、2015年9月に来日しました。

現在は横浜のアジア国際語学センターで、日本語を勉強しています。

2016年11月にスペイン留学中に知り合った日本人の彼と結婚し、二人で夢に向かって頑張っています。

○セルラスとの出会い

2016年10月にワンデイトリップ・プログラム(※1)に参加して鎌倉に行った時、来日して、初めて友達になった日本人がセルラスのメンバーでした。それまでは日本語学校の先生しか日本人と話すことはありませんでした。電車の中ですぐにニックネームをつけてもらいディーちゃんになりました。ニックネームというのは初めてでしたが、決まっただけでグループの一員になった気が嬉しかったです。

鎌倉では、英語とかスペイン語とか交えて会話したり、良い時間を過ごしました。ある人は

ロシア語で自己紹介してくれて、それが半分わかってびっくりしました。

国際的な考えがあるグループに興味があって、ピアザにも参加することにしました。



○ピアザに参加して思うこと

外国人として、日本人の友だちを作るのは難しいことだと思っていたので、ピアザに参加してとてもよかったです。

ピアザのメンバーは、心が開いていて、私の日本人への固定観念を打破しました。セルラスの活動をすると、魔法のように心が開いていく感じがします。

これがセルラスの一番のポイントだと思います。

みんなで影響し合っているのです。

ワンマンロールプレイをしたり、たくさんの人の前で体験談を話したり、いろんなことにチャレンジしながら、



子どもだけでなくお母さんたちも自信をつけているように思います。

活動のおかげでメンバーは

「out of the box」

(箱から出て→壁を越えて)考える能力を持ったり、世界につながったりしていると思います。

○リートレやキャンプに参加して見える、中高生の成長

私は、ピアザ以外のセルラスの活動で、リーダーズトレーニングキャンプやサマーキャンプにも参加しました。私がこのプログラムで一番いいと思うのは、キャンプがいつも自分の目標を立てることから始まっていることです。自分の立てた目標に向かうので、キャンプの際みんなはどんどん成長します。最初のキャンプの目標が「友達を作ること」だった子が、だんだん考えが広がり、「リーダーになる」とか「留学する」というように目標が大きくなっていて、すごいなあと思いました。

(中高生リーダーはコミュニケーションのこと、組織のこと、問題解決のことまで考えています。)

印象に残ったのは、サマーキャンプの帰りのバスで、留学生リーダーが疲れて寝てしまった後、ジュニアリーダーが頑張っていて、バスの仲間と楽しく意義のある時間を過ごしていたことです。

歌やゲームだけではなく、みんなにキャンプの感想を尋ねたのも素晴らしいと思うし、子どもたちも一人一人ちゃんと自分の意見を述べていて、感心しました。キャンプでも、みんなで影響し合い、みんなで成長しています。



○日本人と結婚して、そしてこれからの夢

日本に来てから1年で、私の夢はとて変わりました。最初は大学で勉強していた「土地家屋調査士」に、日本でもなりたいと思っていたのですが、それから、ヨーロッパで日本文化や日本語を教えたいということに変わり、そこから今は翻訳者になりたいと思うようになりました。

セルラスは、自分の夢を発表することが多いです。それはとても良いことだと思います。そのたびに自分の夢について何度も考えて、自分で確認できるからです。

翻訳者になりたいと思ったのは、旦那さんや、日本人の気持ちが知りたくて、日本語を勉強して、日本語が大好きになったからです。これからも夢に向かってがんばります。



親愛なるセルラスのみなさんへ

世界を大きな絵として想像してください。すごく近づいてみると、絵はぼやけてしまいますね。一部分しか見えなくて、全体を想像したり、理解するのが難しいです。でも、一歩下がって全体を見ると、風景は明らかになり、本当の広さが見えるようになります。私はセルラスの皆さんにこの世界の広さ、美しさを見つけてほしいのです。

言語を勉強したり、外国の料理を食べてみたり、他の人の気持ちを想像して理解しようと思ったり。

みんなで一緒にグローバルな人間になりましょう！ Won't you join?

※1 日本語学校の留学生とセルラスメンバーがペアになって、休日の一日を散歩や食事など街歩きを楽しんだり、ホームビジットに招いたりして交流するプログラム。



韓国ホームステイ交流

2016.12.23~28



今回はみんな子連れで5家族のメンバーが参加！そこで見つけたのは…

韓国だっていろいろさ！！

5家族それぞれの体験と、韓国で食べた美味しいものを聞きました！

鈴木陽子さん&和佳奈ちゃん
@烏山木曜ピアザ

オンマはアートセラピスト。
窓に思いっきり
絵を描いて遊びました！

こんな子育て法が?!

家にはクレヨンや絵の具など、お絵かきする道具が
いつも手の届くところにありました。窓いっぱい
一緒に絵を描いたのが、とても楽しい思い出です！

本棚は街角図書館のように絵本でいっぱい！
教育熱心だけど、ただ勉強させるのでは
なく、ゆったりと個性を上手に伸ばして
いて、感心しました。

右のふりかけは海苔の
サクサク感が日本にはない！
左の甘みそ味焼きそばは
ソース味を想像してびっくり！



尾本佐和さん&隆之佐くん@溝の口ピアザ

ホームステイは驚きの連続!!

何度も受け入れられていて、ゲストがいることに慣れて
いるホストファミリー。夕食にサムギョブサルを食べる
ときも、はい！と新聞紙を渡されました。??と思ったら、
テーブルではなく床一面に新聞紙を広げ、そこで食べました。
新鮮な驚きでした。

中学2年生の娘さんは、地下鉄にカーラー巻いたまま乗るので
びっくりしましたが、見回すと若い女性も何人か巻いたまま…
びっくりの連続です。ホテルで体験をシェアしたとき、
家族の関係性、ライフスタイルもみんな違うので
ひとくくりに、韓国だから！ではなく、
やっぱり人それぞれなのだ実感しました。

ホットク！オンマがシジャンで買って
くれました！甘いソースが入っていて、
アツアツでおいしかったです！



嶋田真由美さん
&雄太くん&航太くん
@横浜ピアザ

心が 開いていくのを感じました

OL時代、イギリスで一年間かけて開いた心が
帰国後、閉じてしまっているように感じていました。
それが今回は、1日でまた心が開いていくのを感じ
ました。それがなぜかはまだ的確に言葉にできないの
ですが、なぜ日本では自分が外国語を楽に話せないの
かはわかった気がします。

結婚後初めての海外！子供と一緒に初めて！子供二人を
連れて韓国までホームステイに行けた！

この体験を通し、日本ではもう何でも
できる気がします。普段、仕事や家事に
追われ、つつい子供にきつく接して
しまうこともありましたが、今は少し
余裕をもち優しく接するようになりました。



忘れないことば!

慣れない言葉での会話に手詰まり感を感じた
時に娘たちを見ると、なんと2人でニャン
ニャン語？通じる言葉を作り出して、
楽しそうに遊んでいるではないですか！
ことばがそもそも生まれた瞬間を見た気が
しました。覚えようと思った単語やフレーズは
なかなか出てきませんでしたが、
「気を付けて！」という状況の中で体感した
ことばは韓国語でも(英語でも)自然に使える
ことばになりました。ステイ中、今までメンバーから
聞いていた体験談やセルラス・ストーリーと同じ場面に、
何度も遭遇し、嬉しくなりました！

ふたりはいつ
も、とっても
仲良し



ネンミョン！娘たち大好物！辛さはな
くてさっぱりした味！梨の
ほんのりした甘さがアクセント!!



エディが
貸してくれた
昔の戦隊
ヒーロー！

うちのブルコギ！焼き立てが最高でし
た！ケンニブというえごまの葉っぱとか
初めてのキムチもいっぱい感動！



けんかもしたし
いっぱい
あそんだ！



おうちで頂いた桔梗の根っこ
(トラジ)のキムチ！歯ごたえ、
甘みが癖になります！



チョコリ&浴衣
&テコンドーの
道着です！





メキシコホームステイ交流

2016.12.24~2017.1.4



高校生2名、中学生1名、小学生2名、母2名が、常春のメキシコのモレロス州クエルナバカと近郊の街にホームステイしてきました！心も熱いメキシコの人たちに今度はあなたが会いにいきませんか？

メキシコでたくさんのホストファミリーが、日本のみんなを待っています!!!



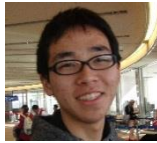
みんな素晴らしいホストファミリーでした。
「こんな機会をもらえて本当にありがとう！」と逆に感謝されました。
ホームステイ受入れの申し出もどんどん増えています。みんな ¡¡Vamos a Mexico!!



メキシコにもうひとつの家族ができた！

下北沢ピアザ 日高広夢(高1)

メキシコの人たちはいつも楽しそうに笑っていて、一緒にいてとても楽しかったです。自分に正直だし、他人にも素直に言いたいことをすぐ言います。自分の気持ちをストレートにぶつけて、それで不思議と仲良くなっています。僕も日本にいる時と違って、自然と本心がでて自分に正直に過ごすことができました。ホストの20歳大学生のダニエルや、兄のディエゴは日本に関心があったので、日本人の働き方とか忍者のこととか、いろいろなことを聞かれました。スペイン語や日本語で、ジェスチャーもたくさん交えながら、一生懸命伝えているうちに、「あ〜、これはまさにセルラスでやっている伝えるワンマンロールプレイだね！」と思いました。ホストファミリーに「私たちはあなたのもう一つの家族だ！」と言われた時は、思わず泣いてしまいました。

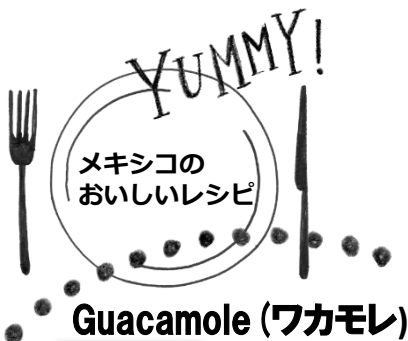


今もメキシコのホストとスペイン語で電話してます♪

阿部野ピアザ 小池蒼依(高2)



私はメキシコに着いたその日から、街を歩く人やお店の人など、とりあえず出会った人みんなに「¡Hola!」って話しかけました。すごいことにどんな怖い顔の人でもみんなちゃんと返してくれるんです！優しい人はそこから「元気ですか？」とか「どこから来たの？」って聞いてくれて、私のぐちゃぐちゃなスペイン語をわかってくれるんです。それが嬉しくて嬉しくてたまりませんでした。ホストのヒメナもいつも丁寧に教えてくれたので、わからないことばがあるとすぐに「Que?」って聞きました。だからどんどん話せることばが増えました。ヒメナや彼女の友だちとは、帰国して1ヵ月以上たった今でも毎日LINEやFacebookでやりとりをしたり、時々電話で話したりしています。私の生活には毎日スペイン語があります。翻訳機がなくても意味が理解できちゃうんです。夏にはヒメナが来日するし、これからもずっとこの交流を大切にしていきたいと思っています。



Guacamole (ワカモレ)



- Tomate(トマト)
- Aguacate(アボカド)
- Cebolla(たまねぎ)
- Cilantro(コリアンダー)
- Limon(レモン)
- Chile(とうがらし)
- Sal(塩)



アボカドは種が茶色の時がBien!

トマト・アボカド・たまねぎ・コリアンダーをカットして合わせ、レモン・塩・とうがらしで味を調え出来上がり！トトポス(トルティーヤチップス)につけて食べよう！

出来たワカモレにアボカドの種を入れておくと、アボカドの変色防止になるよ♪

一番印象的だったこと 渋谷ピアザ 福岡千春

メキシコ交流の中で一番印象に残って嬉しかった事は、挨拶の時の「ハグ」です。到着がクリスマスイブだったので、家族で教会に行き、ママに「日本から来たハグです」と紹介してもらいましたが、その後、「ようこそ！」って、とても沢山の人が、歓迎の言葉と共に、抱きしめてくれました。温かさと共に、気持ちがこれほどダイレクトに伝わる行為があるのだと感動しました。

ぎゅっと抱きしめて気持ちを示し、話すときは目を見つめて身を乗り出してしっかりと聞いてくれる、伝えてくれる。メキシコの人たちのエネルギーと気持ちの豊かさが流れ込んで、体まで温まるようでした。

残念ながら、日本でこの素敵な挨拶が定着するとは思えませんが、相手の目をみてしっかりと話を聞く、自分の気持ちを伝える、この一番基本だけれど難しい行為は、メキシコからの大事な土産として、実践していきたいと思っています。



スーパーピアザだより

烏山木曜ピアザ・コーディネーター
河野 美穂

1月30日、関東スーパーピアザが開催されました。

今年、関東では、毎月地域ごとに順番で企画を担当することになり、今回は世田谷地区の担当で、烏山・下北沢・梅丘ピアザのメンバーは、皆で内容を考え、司会に初挑戦したり、オープニングでの寸劇を練習したり、一緒に創り手になりました。

会のオープニングの出し物は、ピアザでワイワイ話し、動きながら楽しんで決めて、本番は大成功でした。その後ロールプレイ、ワンマンロールプレイで盛り上がり、冬の韓国・メキシコ交流報告にも聞き入り、最後は「自分の言葉で自分の世界・限界を決めてしまっていないか？」という理事長のお話に気づきを得、午後は感想や思いをシェアして終了となりました。

久しぶりにスーパーピアザに参加したメンバーが、多言語ワンマンロールプレイを楽しくやっている人の姿を見て、自分ももっと真剣にこの活動に向き合ってみようと、家でもシャドウイングやワンマンロールプレイを始めたという声が聞こえてきています。

一歩踏み出すことで、沢山の刺激を受けることが出来るスーパーピアザ。せっかくセルラスをやっているのなら、ぜひ時間を作って大人が本気で楽しめる活動を創りに参加してみませんか？

INFORMATION

リーダーズトレーニングキャンプ

日時：2017.3.29～3.31
場所：静岡三ヶ日青年の家
対象者：新中1～大学生
(新小6生飛び級制度あり)



セミナーオ2017

(関東) 2017.4.16(日)
13:00～16:30(予定)
(関西) 2017.4.23(日)
13:00～16:30(予定)

※詳細はお問い合わせください



セミナーオは、セルラスの
最前線を知ることが
出来る集まりだよ！
家族みんな来てね～♪

= 編集後記 =

2017年はNPO法人 多言語広場セルラスにとって、創立15周年の節目の年です。

日本でのNPO活動の社会的地位は、まだまだ未熟で、志を持って設立しても、生まれては消えていく法人が山のように有るのが現実と聞いています。そんな中で、15周年を迎えられる喜びと感謝は“*You can imagine how happy we are!*”(セルラスのストーリーの一節)と叫びたくなる程の強いものがあります。

セルラスの活動は「あるもの」を小出しにして会員に享受するのではなく、メンバーの中から「面白いことがあるんだけど、これって…」と自らの体験をことばに紐解き、それを皆で一緒に検証し合い、新しい扉を開けて行くと言った15年だった様に思います。

今年もまた新たな発見が芽吹いています。各地域の活動の場ピアザがまさに「多言語広場」になる、日本語のみならず、様々な国のことばが自由に飛び交う場になって行く。改めてセルラスでことばが育つ実感を皆が持てる確信の年になる、そんな予感がしています。

これからもセルラスの最先端の情報を発信して、みなさんの「ある！ある！」を刺激し、思わずコメントしたくなるような機関紙を目指していきたいと思っています。

広報プロジェクトチーム一同

ぼくのシャドウイングタイム
みずのロ・おま りゅうりゅう



寄稿文&4コマまんが随時募集中！

(詳細は、本部事務局広報プロジェクトチームまで)

セルラスでは、全国各地で様々なイベントを開催中です。
詳しくはセルラス ホームページをご覧ください！
メルマガも随時配信中！



セルラス 検索

発行元

ピアザ セルラス

NPO法人 多言語広場CELULAS

本部事務局

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-23-1 ニュース付対-1038

TEL: 03-5333-8202 (代表) FAX: 03-5333-8203

関西事務所

〒553-0007

大阪府大阪市福島区大開1-10-10

TEL&FAX: 06-7493-7931 (代表)

URL: <http://www.celulas.or.jp>

e-mail: info@celulas.or.jp